

## 指定管理者の指定について（舞鶴市西市民プラザ）

施設名	指定管理者候補者	指定期間	募集区分	平均得点	所管課
舞鶴市西市民プラザ	一般財団法人有本積善社	R8.4.1～R13.3.31 (5年間)	公募	87.85	市民協働推進課

### 【評価方法】

- 応募団体による提出書類及びプレゼンテーションにより審査を実施。
- 評価項目ごとに5段階 (5：優れている 4：やや優れている 3：普通 2：やや劣る 1：劣る)で評価。

(様式 1-①)

公の施設に係る事業計画書

申請する団体の名称 一般財団法人有本積善社

指定管理者としての基本姿勢について

- (1) 施設の設置目的や管理運営の基本的な方針を理解した上で、どのような管理運営を行うか記述してください。

(はじめに)

舞鶴市西市民プラザは、市民や団体が自主的に集い、交流し、活動を展開する拠点として設置されています。当団体（一般財団法人有本積善社）は、同施設内で10年以上にわたりコミュニティFM局（FMまいづる 77.5MHz）を運営し、地域情報の発信、市民活動の情報発信支援、そして防災情報の提供にも取り組んできました。その実績と経験を基盤に、以下の方針で管理運営を行います。

当団体は、舞鶴市の舞鶴市西市民プラザ指定管理者募集要項、舞鶴市西市民プラザ管理業務仕様書及び本事業計画に基づいて、誠実に指定管理業務にあたります。また、当財団は上記に規定されたもののほか、施設の設置目的達成の為に総合的・長期的に判断して必要と判断される業務にも積極的に取組みます。その内容及び処理について疑義が生じたときは、舞鶴市と協議し業務を遂行します。

(指定管理事業の基本方針及び基本姿勢)

当団体は、次に示す舞鶴市西市民プラザの果たすべき使命（ミッション）や将来的な構造（ビジョン）を通じて、当団体のノウハウ等を十分に發揮し、市民サービスの向上や施設の効果的・効率的な運営を行います。

＜舞鶴市西市民プラザの設置目的（役割・ミッション）＞※募集要項抜粋

舞鶴市西市民プラザは、市民、団体（以下「市民等」といいます。）による自主的な活動拠点として、幅広い世代の市民や多様な団体が自由に集まり交流できる施設として、また、市民活動を通じて、社会参加の促進を図り、地域社会の発展に寄与することを目的に設置されています。さらには、これらの利用を通じ西地区の魅力ある中心市街地も含めた地域の活性化に寄与することを目的としています。

＜施設運営の基本的な方向性（運営方針・ビジョン）＞※募集要項抜粋

舞鶴市西市民プラザは、市民、団体等が主体となって対話を重ね、平成15年に「コミュニティ・福祉・文化」の機能を持つ、若者から高齢者までさまざまな世代が集い、交流する「公設市民営」の施設として設立され運営されてきました。設立から約20年が経過し、改めて令和6年度に「西市民プラザの運営方針に関する意見交換会」を実施し、対話を重ねてきました。それに基づき決定した運営方針は以下

のとおりです。

- ① 一人ひとりの「やりたい」をカタチにする場所  
市民等の「やりたい」ことを具体化し応援するため、多様な資源をコーディネートすることで、誰もが活動できる場所
- ② 知りたい、伝えたいが集まる場所  
地域のイベント、サークル活動、ボランティア募集など、様々な情報が集まるとともに、市民等が自身の活動を発信できる場所
- ③ 地域や人とつながる出会いのプラットホーム  
誰もが気軽に交流し、地域や市民同士がつながり、新たなコミュニティが生まれる場所
- ④ モヤモヤやワクワクをシェアできる場所  
参加者同士の想い、発見等をシェアし、学び合い、応援し合うことで、モヤモヤする気持ちやワクワクする気持ちを分かち合える場所
- ⑤ みんなで舞鶴の未来を創る場所  
市民等が主体的に行動し、舞鶴の未来を創造するとともに関わるすべての人を包摂する場所これらを踏まえ、舞鶴市西市民プラザの指定管理者には、市民等と協働して地域づくりの推進に寄与すること、田辺城まつりをはじめとする市民活動等を支援することなど地域社会の発展につながる積極的な取組が求められます。

西市民プラザの設置目的に沿って、それぞれの運営方針を実現する為に、当団体が実施する事業の方針／概要を以下に示します。

#### 【有本積善社の指定管理事業の方針】

##### ◎ユニバーサルサービスの推進

当団体は、年齢、性別、国籍、障がいの有無、文化的背景等にかかわらず、すべての市民が安心して快適に利用できる施設運営を目指します。舞鶴市と協働で施設のバリアフリー化や多言語対応、子育て世代や高齢者への配慮など、ハード・ソフト両面から「ユニバーサルサービス」の充実を図ります。また、職員の接遇研修や障がい理解研修を通じて、利用者一人ひとりに寄り添う「心のバリアフリー」を推進し、誰もが地域社会の一員として活動できる共生の場を創出します。

##### ◎市民活動をサポート・応援する「市民活動センター」

当団体の運営する西市民プラザは、市民一人ひとりの主体的な地域活動やボランティア活動、文化・芸術・福祉・環境などの多様な市民活動を支援・促進する拠点としての「市民活動センター」としての役割を果たします。市民が自らの思いや関心を形にできるよう、活動相談、情報提供、交流の場の提供、各種講座や人材育成事業などを通じて、地域に根ざした市民活動をサポートします。また、行政、企業、教育機

関などとの連携を図りながら、協働によるまちづくりを推進します。

#### ◎未来のまちづくり「インキュベーションセンター」

西市民プラザにおいて地域の「インキュベーションセンター」として。地域の人材・アイデア・技術が育ち、次代のまちづくりや地域産業の担い手を生み出す拠点づくりを推進します。市民活動、創業支援、文化・芸術・教育・IT・観光など、多様な分野のチャレンジを支援し、地域資源を活かした新しい価値の創出を目指します。

#### ◎人と人がつながる「地域の交流プラットホーム」

当団体は、西市民プラザを、世代や分野、立場の違いを越えて人と人がつながる「地域の交流プラットホーム」として位置づけます。市民活動団体、文化・芸術団体、子育て世代、高齢者、学生、事業者など、多様な人々が交わり、互いに学び合い、協働する場を独自の自主事業企画により実現、提供します。イベント、ワークショップ、展示、体験活動などを通して、新たな出会いや連携を生み出し、地域の活力と創造性を高めることを目的とします。また、ユニバーサルサービスの理念に基づき、誰もが安心して参加できる環境を整え、人と人、人と地域をつなぐ「共創の拠点」としての機能を強化します。

#### ◎だれもが発信できる「地域メディアセンター」

当団体は、西市民プラザを「だれもが発信できる地域『メディアセンター』」として位置づけ、市民が自らの想いや地域の魅力、活動情報を自由に発信できる環境を整えます。館内にて運営しているコミュニティFM放送局「FMまいづる 77.5MHz」に加えて施設WEBサイト、SNS、情報誌などの多様なメディア新たに立ち上げ、活用し、地域の出来事や市民活動をタイムリーに共有することで、情報の循環と共感の輪を広げます。また、ラジオ放送やメディアを活用した講座やワークショップ、イベントを実施し、子どもから高齢者まで誰もが「伝える力」を身につけ、地域の担い手として活躍できる機会を創出します。ユニバーサルサービスの理念に基づき、年齢・障がい・言語の違いを越えて、すべての市民が「発信者」として参加できる開かれた地域メディアの拠点を目指します。

#### ◎積極的な自主事業運営、事業拡大により地域の活性化に貢献

当団体は、民間のノウハウと多様な地域資源を活かし、積極的な自主事業の展開によって施設サービスと稼働率の向上を図り、持続的な事業拡大を実現します。西地区を中心拠点としつつ、ラジオ放送やホームページ、SNSなどの独自メディアを活用して広域からの利用者を呼び込み、施設の魅力を高めながら地域の新しい交流人口を創出します。こうした魅力的な施設への成長は、来館者の往来を増やし、マナイ商店街や平野屋商店街など周辺エリアへの回遊を促進します。施設と商店街が相互に人の流れと賑わいを生み出すことで、地域経済の活性化と地域コミュニティの発展に寄与します。地域の活性化により西市民プラザの活性化に繋がる地域経済の好循環を生み出します。

また、持続可能な事業拡大を実現するため、ハード・ソフト・人材への先行的かつ継続的な投資を行い、指定管理期間の5年間を通じて、西市民プラザを「地域の活力を生み出す核」となる施設へと進化させます。

### 【「やりたい」をカタチにする支援】

相談窓口の常設設置及びコーディネーターにより、高齢者から若者まで多様な声を受け止め、新たな市民の活動が実現するよう一人一人に組織的に伴走支援します。様々なイベント企画や情報提供・発信、ネットワーク作りによる持続的な活動支援を行います。公的助成金などによる財政支援情報や「京都NPOセンター」などNPO中間支援機関とも連携した関連情報の共有など、当団体が持つネットワークを有効に活用します。

当団体が令和6年5月から毎月第4日曜日に実施している「海の京都775バザール」では、延べ100組以上の市民・団体の創作活動を支援、ラジオやSNSを通じ発信し、趣味から販売へ展開する活動を支援してきました。これは、西市民プラザにおける事業の可能性と利用者ニーズを活動意欲に拡大したモデル事業です。

### 【「知りたい・伝えたい」が集まる情報拠点】

西市民プラザが「知りたい・伝えたい」が集まる人と情報の拠点となるよう施設の既存設備とFMまいづる77.5MHz（放送スタジオ）を有効に活用します。掲示板や情報コーナーの設置に加え、SNSによるWEBコミュニティ運営などアナログとデジタル両面で多様な世代やニーズに対応します。情報交換の為のイベントに加えてFMまいづる77.5MHzを通じた情報コミュニティ形成を行います。

当団体が運営するFMまいづる77.5MHzでは、2016年から延べ2000組以上の個人や団体の活動をラジオ番組で紹介してきました。指定管理事業では、市民活動や地域行事の情報を収集、発信し、市民が必要とする情報を得られる環境を整備します。ラジオ放送・SNS・情報誌を通じて、施設内で生まれる活動や地域情報を広域に発信します。

### 【「出会い・交流」のプラットホーム】

当団体は、FMまいづる77.5MHzとふれあい広場を活用したバザール・フリーマーケットを1年以上毎月開催しており、出会いと交流の場を提供しています。更に、料理教室、交流室等を有効活用した講座・ワークショップ等を企画し、世代や分野を超えた出会い・交流を促進します。地元商店街の様々なイベントや「田辺城まつり」などと連携し、新旧の人や団体が交流し、地域のにぎわいを創出、新たなコミュニティ形成を後押しします。

また、リアルな出会いや交流に加え、SNSコミュニティやWEBサイトの運営、FMまいづる77.5による放送を通じた活動紹介など時間や空間を超えた「出会い・交流」のプラットホームを構築します。

### 【「モヤモヤ・ワクワク」を共有する学び合いの場】

イベントや講座・セミナーを企画し、個人や団体の「モヤモヤ・ワクワク」を積極的に掘り起します。多様なスキルや知識を持つ専門家を招き、個人や団体の「モヤモヤ」から「ワクワク」への転換をサポートします。イベントやセミナーの成果や感想は、FMまいづる77.5MHzの番組で講座参加者が自ら発信するなど、地域社会で共有、相互に共感する「学び合いの場」をつくります。

西市民プラザを新たなイベントや市民活動、学びを生む場への発展を推進します。

## 【「未来を共に創る」協働拠点（防災連携を含む）】

西市民プラザが福祉・文化・まちづくりの拠点となるよう施設のハードとソフト両面をフル活用し施設運営に取り組みます。行政や団体、地域と協働した自主事業を展開し、西市民プラザを「未来のまちづくりをリードする人材を輩出するインキュベーションセンター」へと発展させます。多世代のニーズを取り入れた「次の世代のまちづくりチャレンジ」を後方支援します。まちづくりに取り組む意欲ある人材を集め、勉強会やセミナーなどで共に学び、イベントなど西市民プラザを拠点に活動する「まちづくりチーム」を育てます。

FMまいづる 77.5MHz の防災放送・情報発信機能を活用し西市民プラザの防災拠点としての機能を強化します。FMまいづる 77.5MHz は舞鶴市防災無線とも連携した緊急放送設備を西市民プラザ内で運用しており、緊急情報・災害情報の迅速な発信が可能です。防災情報発信に熟練したスタッフが館内に常駐しており、災害発生時には館内への情報提供と同時に、西舞鶴・舞鶴市全域への広域情報伝達を行います。西市民プラザを「情報と防災の拠点」として機動的に運営し、市民の安全・安心を守ります。災害発生時には、地域住民と共に、減災・被災者支援・災害復旧にも取り組みます。

大学生や若者と共に運営するイベントや自主事業により、舞鶴の未来を長期ビジョンで考える市民活動を応援します。多様なニーズに答える市民活動やスマートビジネスの立ち上げを後方支援し、持続可能な地域発展に貢献します。

(2) 指定期間を通じて達成すべき成果目標の達成に向けて、基本的な考え方と具体的な取組を記述してください。

## 【年間利用者数（8万人以上）】

年間利用者数を増加させる為には、貸室の利用率の向上と自主事業による来館者の増加が必須です。FMまいづる 77.5MHz や WEB メディアを活用した効果的な広報活動等により貸室の利用率を 50% 以上に向上させます。また、多種多様な自主事業の企画／運営により、新しい施設利用者の誘導、潜在的な貸室利用の掘り起こしを行います。段階的に自主事業を拡大することで、年間利用者数は 8 万人から 10 万人を目指します。

- 広報担当を配置し、WEB サイト、SNS、情報誌などの自営発信ツールを運営、発信力を充実させます。
- 放送、新聞、フリーペーパー、舞鶴市広報などの既存メディアへの情報提供を積極的に行い、イベントや新事業の PR を行い、来訪者を拡大します。
- ふれあい広場を有効活用するバザール、フリマ、音楽イベント等の自主事業イベントに加えて、商店街行事、PLAYBACK FES. 舞鶴さかなまつり、花火大会、ベイサイドフェス等の周辺大型行事と連携し、来館者を大幅に拡大します。
- FMまいづる 77.5MHz では、番組コーナー、特別番組を編成し、施設の利用状況、参加者・利用者の声、イベント情報など、最新情報を音声できめ細かく広報します。
- 施設の備品、接客サービスなどの向上を常に図り、利用者の満足度を向上させ

ることでリピート利用者を増加させます。

- 舞鶴市、京都府、海の京都 DMO 等と連携し市内外の観光客利用を促進します。

#### 舞鶴市西市民プラザ 指定管理事業計画書（申請時目標設定）

指定管理者申請団体（一般財団法人有本積善社）

※令和4年は前回公募時数値、令和5,6年の利用者数は利用料から逆算

令和7年10月

項目	令和4年	令和5年	令和6年	舞鶴市 R7公募仕様	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
各部屋ごとの稼働率（%）	24%		28.6%		35%	40%	45%	50%	55%
各部屋ごとの利用者数（人）	18,975	19,804	22,627	27,471	28,000	32,000	36,000	40,000	44,000
自主事業の実施件数（件）	9			18	30	40	45	50	55
自主事業による利用者（人）	5,970				1,500	6,400	7,200	8,000	8,800
その他の利用者数（人）	49,288				50,500	46,600	46,800	47,000	47,200
総利用者数（人）	55,258			80,000	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000

#### 【自主事業（年間18件以上）】

これまでの西市民プラザは、貸室を主体とした運営でしたが、市の定義する施設の運営方針（ビジョン）を実現する為には、多様な人材や団体の連携をもとに多種多様な自主事業を継続運営する必要があります。当団体は、放送事業を通じたネットワークやブレインを活用することで効果的な自主事業（イベント、講座、ワークショップ、セミナー等）を年間通じて実施します。当団体の事業と施設の活性化により、市民の貸室利用の拡大に繋げます。

- 市の定義する施設の運営方針（ビジョン）に沿って、それぞれのミッションを達成する多様な自主事業を年間30～50件以上企画・運営します。
- PDCA（企画・計画／実施／評価／改善）を活用し事業を効果的に実施します。
- 楽器体験／ワークショップなどのスタジオ企画で利用率向上に繋げます。
- 健康・文化・子育て支援などのテーマや対象者ごとの個別ニーズに合ったイベントや講座など実施します。
- 市民活動相談コーナー、市民活動情報発信支援室など対面の相談窓口を常設します。
- 親子映画上映会、子供マルシェなど多世代が共に集うイベントを実施します。
- 西市民プラザが防災拠点として機能するよう、FMまいづる 77.5MHz の放送も活用し、地震・洪水などを想定した防災シミュレーションイベントを実施します。市民の意識啓発と施設スタッフの防災能力の向上に繋げます。
- 商店街行事、伝統行事や地域祭礼などと協働し、施設と周辺住民が交わる事業を展開します。
- eスポーツ／メタバース、AI／プログラミング、ドローンなど新しい技術や分野を取り入れた若年層にも魅力ある自主事業を積極的に展開します。

### 【意見交換会（年間4回以上）】

舞鶴市西市民プラザは、市民、団体等が主体となって対話を重ね、平成15年に「コミュニティ・福祉・文化」の機能を持つ、若者から高齢者までさまざまな世代が集い、交流する「公設市民営」の施設として設立され運営されてきました。改めて令和6年度に「西市民プラザの運営方針に関する意見交換会」が実施され、地域との対話を重ねられました。当団体は意見交換会を継続的に実施し、施設運営に活かします。

- 利用者／利用団体、地元商店街／自治会関係者、有識者を招いた多角的な意見交換を年4回以上実施し、利用者／市民目線の施設運営を目指します。
- 意見交換会で得られた意見を自主事業・施設運営に随時反映します。
- 意見交換会の参加者は広く募集し、幅広い意見を集約します。
- 意見交換会の意見や運営への反映状況は、施設内掲示、情報誌、ホームページ、FMまいづる77.5MHz等で広く公表します。

### 【情報誌発行（年間4回以上）】

多くの人がWEBサイト、スマホ、SNSで情報を入手する時代になりましたが、施設の運営状況や事業情報を紙面で発信する事は、これからも重要な広報手段と考えます。世代を超えて親しみやすい情報誌を年4回発行し、施設広報を充実させます。

情報誌は、施設の広報に留まらず、施設利用者の情報発信を支援し、市民活動や施設利用の活性化に繋がるものとします。

- 意見交換会の報告、施設運営情報、自主事業の紹介に加え、商店街や地域の行事、防災特集等、地域の「暮らしと安全」にも役立つ情報誌を発行します。
- 施設の利用例や利用者の声、活動団体紹介、メンバー募集などで利用者の活動広報を支援し、施設の利用促進に繋げます。
- 情報誌は多様な世代に届くよう市の公共施設での配布の他、西舞鶴地区でのポスティングなどを通じて広く配布します。
- 情報紙はホームページやSNSでの「デジタル版」配信に加え、FMまいづる77.5MHzでも「音声版」を発信することで、視覚障害者の皆さんへも情報を提供します

(様式 1-②)

公の施設に係る事業計画書  
申請する団体の名称 一般財団法人有本積善社

執行体制及び人材育成について

(1) 人材の確保、採用及び人材育成に関する基本方針について記述してください。

ア) 職員の雇用・採用

現在従事している職員については、本人の希望を尊重し継続雇用を基本とします。その上で、新たに意欲や能力を持つ人材を積極的に採用し、多様な世代・経歴を持つ人材が活躍できる体制を整えます。これにより、従来のノウハウを継承しつつ、新しい発想や専門性を加えることでサービス向上を図ります。

イ) 職員の長期雇用と多様な勤務形態

公共施設に求められる専門知識や接遇力は、短期間で身につくものではなく、長期的な勤務を通じて蓄積されるものです。そのため、安心して働き続けられる職場の環境整備に注力し、社会のニーズに応じた適切な雇用環境を維持します。また、柔軟な勤務形態（短時間勤務・シニアや子育て世代の活躍支援）を採用し、潜在的な人材を掘り起こします。管理者が定期的に職員面談を行い、職場内のコミュニケーションを円滑にし、離職を防止します。人材定着を重視し、施設運営・市民活動支援のプロフェッショナル人材を長期的に育成します。

ウ) 人材育成

西市民プラザは市民に開かれた市民の為の活動拠点です。そのため、職員・スタッフには高い知識とホスピタリティが求められます。当団体は常に、働く人目線で、以下のような人を育てる取組みと職場環境づくりに取り組みます。

◎研修

接遇、防災対応、ICT活用、ユニバーサルサービスなど実務に直結する研修を計画的に実施します。年1回以上の全体研修に加え、関連業務や適性に応じた個別研修・OJTを随時実施し、職員・スタッフの総合的な能力向上を支援します。

◎統一ユニフォームなどによる職員・スタッフの意識向上

制服や統一ユニフォームを採用し、施設スタッフとしての意識向上に積極的に取り組みます。

◎OJT・メンター制度

新規職員を先輩職員がサポートし、スキル定着を促進します。

◎評価とフィードバック

職員の業務を定期的に振り返り、成長につながる評価制度を導入します。職員の意見や企画を積極的に採用し、事業に反映することでやりがいを高め、組織への定着とモチベーション向上を図ります。

エ) 地域と施設を愛する心を育む

施設職員は単なる従業員ではなく、市民と地域・施設をつなぐ「ホスト」としての役割を担います。舞鶴の魅力を理解し、地域と施設に誇りを持つことが、最良のおも

てなしにつながります。

- ・定期的なワークショップで、地域の魅力や課題について学ぶ機会を設けます。
- ・職員自らが自主事業や市民活動に参加できる仕組みを導入し、地域との関わりを深めます。
- ・職員一人ひとりが「舞鶴の未来を共に創る仲間」であるという意識を持てるような風通しの良い組織風土を育てます。

#### オ) 管理体制

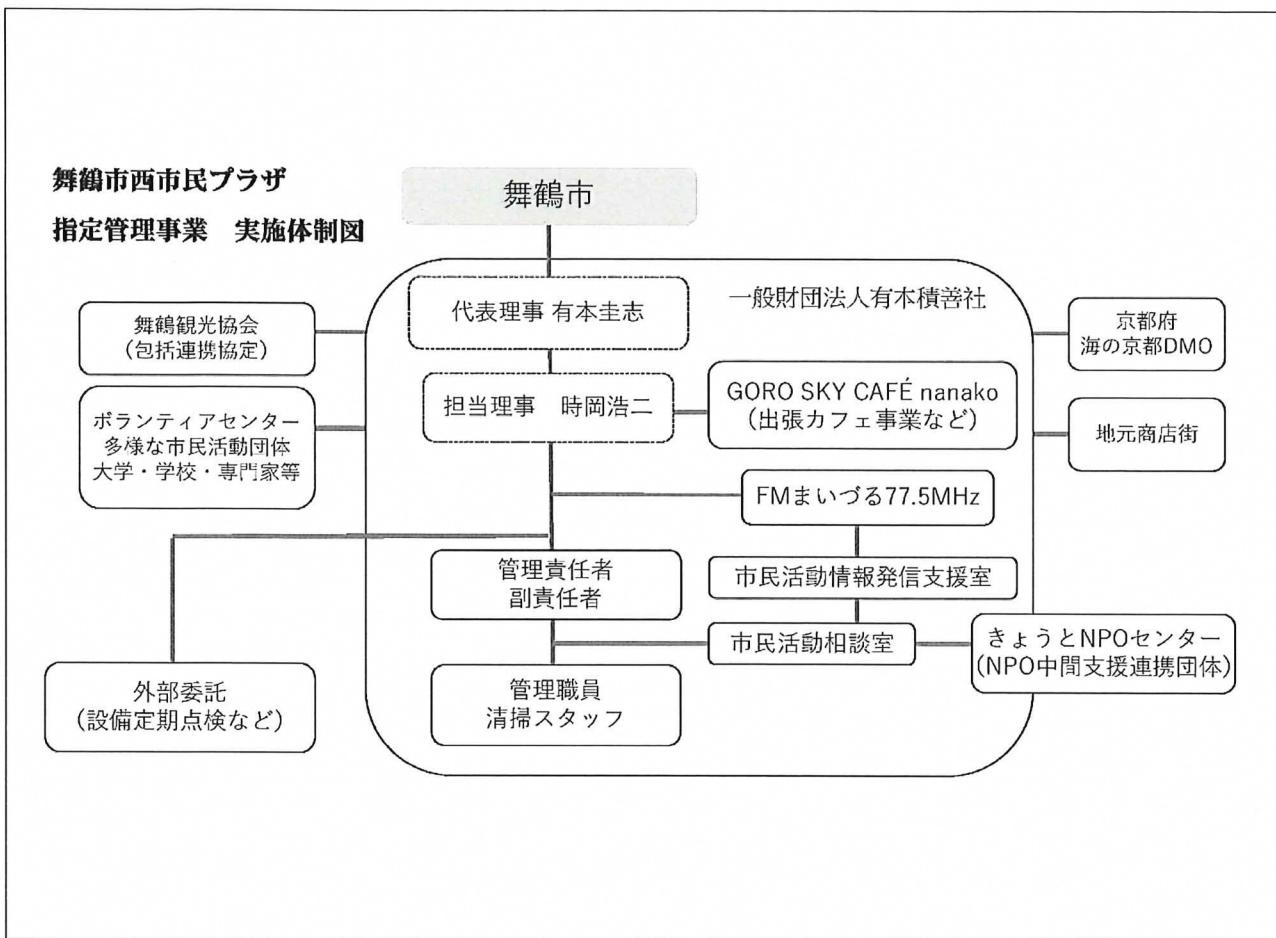
責任者／副責任者を配置し、指定管理事業全般の管理体制を構築します。施設管理、人材管理、財務管理、事業管理を三位一体で運用することで、効率的な施設運営を実現します。

- ・公的機関・地域団体との連絡調整や、臨時職員・外部委託業者の管理監督を責任者が担い、施設の安定運営を確保します。
- ・雇用契約、諸契約、財務管理については法人役員が担当し、指定管理事業全般を法人として統括します。
- ・団体内での毎週の運営会議、毎月の進捗確認会議で目標の達成状況や課題の洗い出しを行い年間計画の達成を目指します。
- ・舞鶴市との毎月の定例会議では、事業報告と課題や新たなアイデアを共有し、官民協働での施設運営に取り組みます。

#### カ) ラジオ局と連携した施設運営

当団体は、平成27年から西市民プラザでFMまいづる 77.5MHz 放送スタジオを運営する為、日曜日と夜間を除き放送スタッフが施設内で常時勤務しています。放送スタッフは、西市民プラザ内で常時勤務するメリットを活かしながら、当団体に求められるニーズを理解し、指定管理事業スタッフと連携し、更に付加価値の高い施設サービスを提供します。

＜管理体制図＞



(2) 職員の雇用形態、勤務形態及び効率的な職員配置について記述してください。

ア) 自主事業の展開に合わせた雇用形態・勤務形態

新たな方針に基づく西市民プラザ指定管理事業は、施設管理／貸室業務と市民活動を支援する業務、自主事業の企画・運営という3分野に整理できます。特に自主事業は、土日祝日や夜間に開催される事業も多いことが想定されます。そのため、常勤責任者1名及び副責任者1名を配置し、指定管理事業の安定的な運営を図ります。非常勤職員もイベントスケジュールに応じた柔軟なシフト制を採用することで、個人に負担が集中せず、組織全体で業務を分担できる体制を構築します。

シフトは月ごとに調整し、利用状況や事業内容に応じてローテーションを最適化することで、効率的かつ持続可能な勤務形態を実現します。

イ) 合理的・効率的なシフト運営体制による施設運営

西市民プラザの業務は、朝9時～22時まで13時間におよぶため、合理的・効率的なシフト管理が必要です。シフト交代時の引継ぎ・申し送りを徹底し、トラブルを未然に防ぎます。週間ミーティングでは、現場職員や利用者の声を拾い上げ、職場環境や施設運営の課題抽出・改善に遅滞なく繋げます。また、一人ひとりの適性を見極めた役割分担、職場配置を行い、組織全体のパフォーマンスを高め、最適な職場環境を実現します。

【職員の基本業務シフト】※清掃業務スタッフは別途

勤務区分 始業 終業 休憩時間

A 勤務	8:30	17:30	12:00～13:00
B 勤務	9:00	18:00	13:00～14:00
C 勤務	17:30	22:30	—

ウ) 労使協定等と法令遵守

労働関係法規を遵守するとともに、協定類（雇用契約書、機密保持誓約書、時間外・休日労働に関する協定届など）を整備し、安心して働ける環境を保証します。

エ) 多様な労働力の活用

常勤・非常勤職員のシフト勤務をベースに自主事業など変則業務については、業務委託スタッフ、アルバイトスタッフ等を活用し業務の効率化を図ります。

オ) 効率的な職員配置（個人面談と人材活用）

年1回以上の個人面談を行い、職員のキャリア意識や問題意識、改善提案を把握し、人材育成、適切な人材配置、業務改善に繋げます。

(様式 1-③)

公の施設に係る事業計画書  
申請する団体の名称 一般財団法人有本積善社

諸規程の整備状況について

(1) コンプライアンス(法令遵守)に関する基本的な方針について記述してください。

当法人は、指定管理者として公共性の高い施設を運営する責任を強く認識し、コンプライアンスを経営の最優先事項として位置づけます。

・法人のコンプライアンス規程に基づき、全職員を対象にした教育・研修を定期的に実施し、法令、条例、就業規則、社会規範の遵守を徹底します。

・問題や課題発生時には、コンプライアンス規程に基づき、コンプライアンス委員会を設置し速やかに対応します。

・「組織全体で取り組む姿勢」を明確化し、単なる規程の整備にとどまらず、日々の業務の中で実務に即したコンプライアンス意識を育成します。

・SNS や情報発信に関するリスク教育を徹底し、職員個人の軽率な行動が組織全体の信用失墜につながらないようにします。

・「挨拶・接遇・誠実な対応」もコンプライアンスの一部と位置づけ、公共施設職員としての基本姿勢を日常業務に浸透させます。

(2) 諸規程の整備状況と職員に対するコンプライアンス(法令遵守)の徹底に向けた取組について記述してください。

当法人では、組織的なリスク管理・法令遵守を実現するために、以下の諸規程を整備しています。

個人情報保護指針 コンプライアンス規定 リスク管理規程 経理規程  
就業規則・給与規程・賃金規程・再雇用規程 育児介護休業規程 情報公開規定  
文書管理規程 セクシャルハラスメント防止規程 パワーハラスメント防止規程  
パートタイム労働者就業規則

◎コンプライアンス(法令遵守)の徹底に向けた取組

全国のコンプライアンス違反事例を共有し、同様の事故や不祥事を未然に防止します。職員会議での事例検討を通じて、形式的な規程遵守にとどまらず「なぜ守るのか」理解を増進させます。

◎施設職員としての自覚の啓発

施設を訪れる方はすべて「お客様」であるという意識を徹底します。出入り業者や協力団体に対しても敬意を払い、信頼関係を築く姿勢を徹底します。研修・OJT・個人面談の場でのフォローアップにより、職員一人ひとりの行動規範として定着させます。

(様式 1-④)

公の施設に係る事業計画書  
申請する団体の名称 一般財団法人有本積善社

利用者本位の柔軟なサービスの提供について

- (1) 利用者の平等な利用の確保、サービス向上に向けた基本的な考え方について記述してください。

当団体は、西市民プラザの公共施設としての公平性・公正性を最優先し、すべての利用者が平等に、快適に施設を利用できる環境を整備します。

◎舞鶴市公共施設予約システムのオンライン予約利用の促進

施設利用は透明、公平、効率的に行う為、舞鶴市公共施設予約システムのオンライン予約利用を促進します。利用者にはオンラインのメリット、サービス向上について丁寧に説明を行います。

◎キャッシュレス決済の促進

キャッシュレス決済の利用促進キャンペーン（特典提供）など、利用者目線でキャッシュレス決済の促進とサービス向上を行います。

◎多様性を尊重したサービス提供

高齢者・障がい者・子育て世代など多様な市民の立場に配慮し、誰もが安心して、快適に利用、活動できる施設運営を実現します。

◎防災拠点機能

FMまいづる 77.5MHz の緊急放送とラジオ放送スタッフが、災害時には館内アナウンスとラジオ放送で利用者と地域住民の安全確保を図ります。

◎快適な利用空間の提供

「ふれあい広場」の夜間照明、暖房器具提供、夏季のクールスポット提供など利用者が、より快適に施設が利用できるよう新たなサービスを提供します。

◎職員・スタッフの接客研修

接客研修、自己啓発研修等を定期的に行い、施設内のチームワークと個人のスキルアップを図り、利用者サービスの向上に継続的に取組みます。

- (2) サービス向上につながる工夫等、新たな提案がありましたら具体的に記述してください。

◎世代やニーズに応じたサービス導入例

- ・高齢者向けに対面での丁寧な窓口サポートに加えて見易いの案内掲示などを追加
- ・「ふれあい広場」「交流室」「団体活動室」での安心・快適な子育て空間の整備
- ・eスポーツなどデジタルネイティブ向けの新たなイベントやサービスの提供

◎キャッシュレス・オンライン利用による利便性向上  
キャッシュレス決済、オンライン予約を推進し、利用者の利便性を高めます。

◎ラジオやSNSでのリアルタイム情報発信

FMまいづる 77.5MHz ラジオ放送やSNSを活用し、イベント情報、施設情報、利用状況をリアルタイムに発信し、利用者の利便性向上に繋げます。

◎アート作品展・イルミネーションによる空間演出

施設内で常設のギャラリーやアート作品を展示し、イルミネーションを工夫するなど、利用者・来訪者が快適に、楽しく過ごせる施設の空間演出を行います。

◎館内サービスの向上

- ・五老ヶ岳公園のGORO SKY CAFÉ nanakoなどの出張カフェ営業を行い、長時間快適に過ごせる環境を整備します。
- ・海の京都775バザールの手作品や授産施設の商品などの物販コーナーを設け、楽しく、賑わいのある施設運営に繋げます。
- ・みんなの広場の夜間照明や冬季の暖房など安心、快適な空間提供を行います。

(3) 利用者の声(ニーズ)の把握と管理運営への反映方法について記述してください。

利用者の声(ニーズ)をアンケート、スタッフからの情報共有等により随時把握し、施設運営に随時反映します。

当団体が2024年より西市民プラザで毎月開催している「海の京都775バザール」は、利用者から寄せられた、「自分の作品を発表する場が安定的に欲しい」という声を具現化した事業です。延べ100件以上の創作活動支援につながり、施設運営における市民ニーズ反映の成功事例です。

◎現場職員・スタッフからの情報提供／共有

現場職員・スタッフの気づきや、直接聞いた利用者の声を日々記録、週間運営会議で共有し、迅速に業務改善に繋げます。

◎利用者アンケートの実施、ご意見ボックスの設置

ご意見ボックスの設置、利用者アンケートの実施、意見交換会、ホームページなど、利用者の意見や要望を幅広く収集します。

◎利用者の声の情報発信による開かれた施設運営

情報紙やFMまいづる77.5MHzで「西プラ利用者の声」コーナーを設け、利用者や市民から寄せられた声と共に対応状況も広く情報発信します。

◎改善サイクル

収集した意見・利用者の声(ニーズ)を定例の施設運営会議で整理・分析し、改善点を明確化し、速やかに運営に反映します。改善の結果や新たな取り組みは、情報誌やラジオ放送で利用者にフィードバックし、透明性と信頼性を確保します。

(4) 苦情処理、トラブル対応と従業員教育について記述してください。

当団体は、利用者が安心して施設を利用できるよう、職員・スタッフにコンプライアンス規定、リスク管理規程苦情などを周知、教育しトラブル対応体制を確立します。日々、利用者の声を的確に拾い上げ、運営改善に反映するとともに、迅速かつ誠実な苦情処理と徹底した従業員教育を実施することで、市民が安心して利用できる「信頼される西市民プラザ」を実現します。

◎苦情処理体制

- ・窓口、電話、ホームページ等での苦情を受付け、職員間で共有し、速やかに対応します。
- ・重大案件については、舞鶴市、団体役員と情報共有し、誠実かつ迅速に対応します。

◎事故／トラブル／災害対応

- ・事件性のあるトラブルや急病等の緊急事態には、スタッフが一次対応を行い、必要に応じて関係機関（警察・消防等）と連携します。
- ・災害発生時には利用者の館内誘導を最優先し、施設設備の保全対応を行います。
- ・災害時には、舞鶴市と緊密に連携し、人命第一に行動し、避難所開設など施設に求められるニーズに迅速に対応します。
- ・防災拠点として近隣地域住民と情報共有を図り、FMまいづる 77.5MHz の放送設備を活用し、防災情報発信を同時に行います。

◎従業員教育

外部講師招致や動画を活用し、より効果的な方法で以下の従業員教育を行います。

【接遇研修】利用者本位の姿勢を徹底し、丁寧かつ柔軟な対応力を養成

【防災・安全研修】避難誘導や応急対応を含む実践的な訓練を定期的に実施

【多様性研修】多様な利用者に対する理解を深め、包摂的なサービスを実現

【IT研修】キャッシュレス・オンライン予約等を推進する為IT研修を実施

(様式 1-⑤)

公の施設に係る事業計画書  
申請する団体の名称 一般財団法人有本積善社

安全管理について

(1) 日常時の安全管理に向けた取組について記述してください。

◎危険個所の早期発見

施設の環境は日々移り変わり、危険個所が知らぬ間に発生している場合があります。利用者が危険にさらされる可能性を出来る限り早期に発見できるよう、毎日の見回りにより危険個所がないことを確認し、チェックシートに記入保存します。

◎危険個所への対応

設備不具合、危険個所を発見した場合は、応急処置を施したうえで、舞鶴市担当部署への連絡と解決策を早急に講じるよう努めます。

(2) 緊急時の対応について記述してください。

危機管理マニュアル等のマニュアルを作成、職員が組織的に緊急対応できるよう研修や訓練を通じて万全な運営体制で臨みます。

◎迅速な対応がとれる体制を構築

不慮の事故等、緊急時の対応については、発見者から管理責任者・市役所へと円滑に連絡がとれる体制を整えます。

◎防災訓練等による準備

防災訓練、救命訓練などにより職員・スタッフの緊急時対応を普段から準備します。

◎災害時の避難所運営等の対応

事前に災害が予想される場合には損害を最小限にするよう、最大限の施設の保全を図ります。災害時の避難所運営には積極的に協力すると共にSNSやラジオ放送(FMまいづる)による情報発信を行います。

(3) 個人情報保護について、従業員に対し取り組んでいること、今後取り組もうとしていることについて記述してください。

個人情報の保護に関する法律及び当法人の個人情報保護規定を設け、個人情報保護に取り組んでいます。業務内で知り得た個人情報は、必要がなくなった時点で直ちにシュレッダーにより破棄しています。西市民プラザの指定管理事業では、個人情報の漏えいが発生しないよう以下を実施します。

- ・個人情報保護責任者の専任
- ・個人情報保護に関する研修の実施
- ・個人情報の適切な廃棄
- ・業務利用PCのセキュリティ管理

(様式 1-⑥)

公の施設に係る事業計画書  
申請する団体の名称 一般財団法人有本積善社

適切な積算について

(1) サービス向上の取組と収支計画の整合性について記述してください。

施設サービス向上の原点は施設の美化、快適性、健全性にあります。従来の施設管理体制を引継ぎ、毎日の館内清掃、トイレ清掃、施設の美観維持を徹底し、清潔で安心できる環境を利用者に提供します。施設美化・管理サービスは、舞鶴市の施設でも最上位のレベルに引き上げ、維持することを目指します。サービス向上の為の自主事業を計画的に実施し、利用者サービスの向上と健全な収支の両立を図ります。

◎効率的なサービス提供と改善

従来の手法にとらわれず、業務改善・合理化を全職員で考案し、コスト増を伴わないサービス向上を随時図ります。チェックリスト等で効率と品質の両立を実現します。

◎オンライン予約、キャッシュレス決済の推進

オンライン予約、キャッシュレス決済の推進で、利用者の利便性向上と共に、業務の効率化、経理処理の透明化を図ります。

◎情報提供サービスの向上

FMまいづる 77.5MHz や SNS を活用し、迅速で広範囲な情報提供サービスを実現します。災害・気象急変時にはこれらのツールを活用し、迅速かつ正確な情報提供を行い、安全性と信頼性の高い施設運営を行います。

◎自主事業による施設の付加価値サービスの創出

物販や出張カフェなどの常設サービス、バザールなど定期的なイベントにより、新たな施設サービスを創出し、一定の事業収入を確保します。施設への訪問者数や利用者数の増加、事業収入の増加に合わせて段階的に自主事業を拡大し、サービスの質と量の充実を図ります。

(2) 収入を増加する取組と収支計画の整合性について記述してください。

収入を増加する基本方針は、自主事業やイベント開催による新規利用者の誘導により、定常的な施設の利用者の増加を目指します。自主事業と館内サービスを常に見直し、「楽しく利用したくなる施設」を実現し、新たな利用者を開拓します。

【貸室利用傾向の分析】※令和6年度実績データ

◎作業ゾーン② (平均 53.2%)、多目的室 (44.6%)、スタジオ B (38.3%) などは利用率が高い→ (分析: ダンス、文芸、バンド練習等の常連利用が多い。)

◎料理教室 (4.1%)、交流室 (平均 18.3%)、催し場 (約 14.7%)、展示室 (22.1%) など

は利用率が低い→（分析：認知度が低く、利用者層に偏りがあり、利用が広がっていない。）

◎全般的に平日午前、夜間の利用率が低い→（分析：利用者が固定化している。）

#### 【貸室利用率向上による収入の増加】

利用率の低調は、「施設の認知不足」「魅力あるサービス・自主事業の不足」に起因すると分析します。利用率の低い時間帯や曜日に多種多様な自主事業を企画し、より小さな動機づけを積み重ね、新たな利用者増加の流れを継続的に生み出します。「市民が自然と集う施設」へと施設を育てます。施設訪問者の拡大により貸室利用率が拡大し、収入の持続的増加に繋げます。

◎市民活動支援・活動活性化による利用率の向上

様々な市民活動を持続的に支援・応援することで、施設内での活動や貸室利用を活性化し、利用料収入増に繋げます。

◎広域広報／WEB 情報発信による市外からの利用者増も促進

西市民プラザは、周辺地域で数少ない公共施設内のスタジオ設備を有しており、既に市外の音楽愛好家に広く利用されています。FMまいづる、ホームページ、SNS等で広域広報を実施し、スタジオや施設の広報を行います。FMまいづる 77.5MHz の広域ラジオネットワーク（綾部、福知山、京丹後、京都市、高浜町など）を活用し、広域広報プロモーションを実施します。

◎備品等の健全な維持

設備や備品の管理を徹底し、不具合や老朽化したものは、舞鶴市と協議の上、速やかに更新し、設備や備品の不備による利用者離脱が発生しないよう対応します。

◎利用料収入の拡大（稼働率の向上）と自主事業による事業収入の拡大

収入の増加は、部屋の平均稼働率を年5%向上させ、同時に自主事業を件数を年5件以上拡大し、計画的に実現します。5年間で稼働率を50%以上、自主事業50件以上の実施を計画します。

## 舞鶴市西市民プラザ 指定管理事業計画書（申請時目標設定）

指定管理者申請団体（一般財団法人有本積善社）

※令和4年は前回公募時数値、令和5,6年の利用者数は利用対から逆算

令和7年10月

項目	令和4年	令和5年	令和6年	舞鶴市 R7公募仕様	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
各部屋ごとの稼働率（%）	24%		28.6%		35%	40%	45%	50%	55%
各部屋ごとの利用者数（人）	18,975	19,804	22,627	27,471	28,000	32,000	36,000	40,000	44,000
自主事業の実施件数（件）	9			18	30	40	45	50	55
自主事業による利用者（人）	5,970				1,500	6,400	7,200	8,000	8,800
その他の利便者数（人）	49,288				50,500	46,600	46,800	47,000	47,200
総利用者数（人）	55,258			80,000	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000
利用料金収入（円）	4,644,142	4,753,075	5,430,425		6,440,000	7,040,000	7,560,000	8,000,000	8,360,000
利用料金／利用者数（円／人）	245	240	240	240	230	220	210	200	190
事業収入（円）	844,085	711,700	207,000		960,000	1,400,000	1,400,000	2,640,000	3,080,000

## 【自主事業による事業収入の拡大】

## ◎講座・ワークショップ等の自主事業による新規利用者の開拓と定着

体験講座・ワークショップなどにより市民の活動意欲を啓発し、スタジオ、催し場等の新規利用者の新規開拓を行います。魅力的な講座・セミナーの開催により、参加費収入などを拡大します。

## ◎出張カフェ営業・物販等による館内サービスの充実で事業収入増と来館者増

GORO SKY CAFÉ nankoなどの出張カフェ営業や物販等、利用者のニーズに応じた新たな館内サービスで、事業収入の増加と来館者の増加（リピーター化）を目指します。

## ◎イベント事業・観光連携による事業収入

舞鶴市、舞鶴観光協会（当団体との包括連携協定）、海の京都DMO等の観光イベント・キャンペーン、地元商店街等と連携し、西地区・西市民プラザへの観光誘客を促進します。手づくり土産品販売（物販）など施設と利用者の双方の収入に繋げます。

## (3) 管理経費削減に向けての工夫について記述してください。

当財団は「サービス向上」「収入増加」「経費削減」の3つの取組を、収支計画と一体的に整合させることで、健全かつ持続可能な施設運営を実現します。FMまいづる77.5MHzの広報力を活かした市民協働による事業展開とオンライン予約／キャッシュレス決済を活用した効率的な運営により経費削減に取り組みます。

## ◎相見積・市場調査

委託費・物品購入にあたり複数業者から見積を取得し、価格比較サイト等で価格・品質・長期コストを総合的に判断します。

## ◎人件費の効率化

長時間勤務による時間外手当を削減するため、シフト調整の最適化を徹底します。